

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	3812
平成18年度部名	消防本部	課名	警防課	課長名	鈴木 久道
平成19年度部名	消防局	課名	警防課	課長名	鈴木 久道
事務事業名	消防団車両購入事業				
予算上の事務事業名	消防団車両購入事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第3施策 消防力の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	消防組織法、消防力の整備指針、Nox・PM法等				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	対策	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
老朽化した消防団車両を機能充実した車両に更新することにより、複雑多様化した災害への対応能力が向上し、迅速的確な災害防ぎょ活動が実施できるため、安全なまち相模原市を提供できる。					相模原市民
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 平成18年度更新車両 災害の複雑多様化を踏まえて、消防団車両の更新及び資機材を導入することに、消防団車両の機能充実を図った。 津久井消防団第5分団第4部：消防ポンプ自動車1台 相模湖消防団第4分団：消防ポンプ自動車1台					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他自治体も同様な目的で実施している。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	26,200	0	30,598	44,656	44,656
一般財源	26,200	0	30,598	44,656	44,656
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,070	8,050	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	34,270	8,050	38,648	52,706	52,706
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	消防団車両購入事業			対象名称 と単位	消防団車両数(台)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	34,270	8,050	38,648	52,706	52,706
対象数	6	0	2	6	6
単位あたり経費(円)	5,711,667	#DIV/0!	19,324,000	8,784,333	8,784,333
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.45	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	更新消防団車両台数（台）	指標式と指標の説明	更新車両台数 / 更新計画 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	6.0	0.0	2.0		
目標	4.0	4.0	4.0	6.0	6.0
目標達成度（%）	150.0	0.0	50.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	消防団車両の更新率（%）	指標式と指標の説明	更新車両台数 / 既存車両台数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	4.0	0.0	2.0		
目標	56.0	56.0	90.0	120.0	120.0
目標達成度（%）	7.1	0.0	2.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		老朽化した消防団車両の機能充実した車両に更新するのに、必要不可欠な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
相模原市消防団が、5団体体制になり、より効率的な消防団車両の更新計画を確立する必要がある。			旧津久井町、旧相模湖町及び旧藤野町の消防団車両の老朽化が激しいので、今後、消防力整備計画との整合性を併せて、更新計画の見直しが課題である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		老朽化が著しく業務に支障のある車両更新を優先し、効果的な事業の実施に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			